

平成 30 年度(2018 年度)の事業報告書

平成 30 年(2018 年)10 月 1 日から令和 1 年(2019 年)9 月 30 日まで

特定非営利活動法人コースター

1 事業の成果

① 社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業

○人材育成支援事業

・高校生・大学生向けプロジェクト

福島県社会教育課「子どもが踏み出す復興体験事業」を活用して、県内の NPO 団体と連携した高校生プレゼンイベントを 1 回、高校生向けの勉強会 2 回、高校生のプロジェクトチーム 4 チームへのメンタリングを実施した。またソフトバンクが主催する TOMODACHI ソフトバンクリーダーシッププログラムにて、高校生のアドバイザーとして東北の高校生 100 名と一緒に渡米し、プロジェクト形成支援を行った。

また、創業支援事業との連携で、郡山市内の私立高校で今年度より探求学習の時間の企画と週 3 コマ分の授業を担当することにより、学校と連携した次世代プレーヤーの輩出するための基盤が強化された。

大学生向けには、復興庁の復興創生インターンシップ事業を受託し、2018 年夏には 5 社 5 名、2019 春には 10 社 19 名の学生に対して、1 か月間のインターンシップのコーディネートを実施した。実際にインターン終了後もプロジェクトメンバーとして受入先に関わる大学生や受入先に就職内定が決まった学生もあり、人材マッチングの場として機能しつつある。なお、次年度も継続予定であり、今後の拡大に向け、コーディネーターの育成と支援体制の効率化が必要である。

・社会人向けプロジェクト

今年度より、郡山市の創業支援事業者に認定され、中小企業庁の「創業支援者補助金」を活用して、創業希望者向けの勉強会 4 回、アイデアワークショップ 1 回を開催し、延べ 120 名の郡山市民が参加した。勉強会の参加者のうち、高校教諭の方が参加され、その流れで市内の私立高校との共同事業に参画することになり、新たな事業形成の場としても機能した。また、本勉強会から 3 名の方が創業を行っており、一定の成果があげられている。また、2019 年 4 月からはこうした実績からランサーズ株式会社とのフリーランスのアクティビティ向上に向けた共同プロジェクトも生まれている。

② 地域社会の変革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業

○コミュニティスペース運営事業

2015 年 10 月より運営しているコミュニティスペース「福島コトひらく」の運営については、レンタルオフィスに 5 社入居し、コワーキングスペースの月額会員も月 5 団体の登録がある状態である。前年度に比べ、オフィス会員、コワーキング会員が増加してきており、月 35 万円の売上を維持することができた。また、会員同士の事業連携も行われつつあり、ただの仕事場所というところから協働の場所としての効果

を少しずつ生まれてきている。また、レンタルオフィスが満室の状態でも月に 2 件ほどオフィス利用の問い合わせがあり、スモールオフィスのニーズを確認できている。

その一方で会議室利用者は減り、オフィス利用を含め、月 3~400 名の利用になっている。そのことから、次年度以降、会議室スペースを減らし、レンタルオフィススペースの拡充を図り、インキュベーション施設としての強化を行っていききたい。

○中間支援事業

・川内村支援事業

前年度同様、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームが運営する「共に生きるファンド」を活用し、川内村村内でのボランティアコーディネートや支援団体のネットワーキングの事業を行っている。具体的には、上半期からの流れから明治大学アメリカンフットボール部の学生たちが年 2 回(夏と春)ボランティアとして参加する流れになっており、夏開催回では、川内村伝統的な祭りである天山祭りの運営に関するボランティアを実施した。

また、東北大学と連携し、帰村後の仮設住宅で暮らしていた村民の見守りと交流を兼ねた同窓会や交流会イベントの実施を通して、帰村後、孤立する可能性が高い高齢者のサポートを行っている。前年度は 2 回程度の実施であったが、今年度は 4 回実施し、住民との交流の場を増やしている。

・NPO 法人事業サポート事業

前年度から引き続き、富岡町 3.11 を語る会に対する組織基盤整備の支援を行った。

具体的には、事業計画の策定や資金調達の補助を通して、組織基盤強化を図っている。こうした活動の結果、富岡町 3.11 を語る会において、今後の組織運営を担う若手人材(常勤スタッフ 1 名、非常勤スタッフ)を雇用し、その育成補助も行うことで着実に組織基盤強化につながっている。

また、住友商事「東日本再生フォローアップ・プログラム 2018」の採択を受け、こおりやま福祉よりあい会議(被災者支援と平時の福祉支援をつなぐ実務者の連携づくり)事業を実施し、2019 年 3 月まで生活困窮者等のケース検討を通じた福祉支援者の連携体制づくりを行っている。今年度は、3 回のネットワーキング会議を行い、福祉団体に所属する 41 名の参加があった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者人数	(D)受益対象者の 範囲および人数	売上 (単位:千円)
① 社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業	【人材育成事業】 ○高校・大学生支援プロジェクト ・高校生のプレゼンイベントの開催およびメンタリング ・大学生向けインターンシッププログラムのコーディネート	(A)通年 (B)郡山市、平田村、白河市などの県内各地 (C)2名	(D)大学生向け事業:受入企業12社、参加学生48名 高校生向け事業:200名	7,000
	・社会人向け支援プロジェクト(創業支援) ・創業希望者向け勉強会や創業機運醸成に関するイベントの開催	(A)通年 (B)郡山市 (C)2名	(D)郡山市民:120名	3,600
② 地域社会の改革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業	【コミュニティスペース運営事業】 ○コワーキングスペース、会議室、レンタルオフィス等の貸出し。	(A)通年 (B)郡山市富久山町にあるコミュニティスペース (C)5人	(D)郡山市とその周辺に住む若者や市民 (E4000人)	4,000
	【中間支援事業】 ○川内村支援事業 ・村と連携したボランティアプログラムの企画・コーディネート ・大学と連携した高齢者向け交流会の開催	(A)通年 (B)川内村 (C)1名	(D)川内村の村民2800名	4,390
	○NPO 法人サポート事業 ・富岡町支援事業 NPO 向けの基盤整備強化支援(事業計画立案支援、資金調達支援等) ・寄り合い会議事業 福祉分野でのネットワーク会議の実施	(A)通年 (B)郡山市、富岡町 (C)1名	(D)避難している富岡町民 (E)15000人	3,700